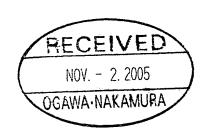
特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]



出願人又は代理人 の書類記号 GH1733-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2005/014356	国際出願日 (日.月.年) 29.07.2	優先2005 (日	月.年)
出願人 (氏名又は名称) トーカロ株式会社			
国際調査機関が作成したこの国際調査報 この写しは国際事務局にも送付される。	设告を法施行規則第41条(P(CT18条)の規定	፤に従い出願人に送付する。
この国際調査報告は、全部で3	_ ページである。		
□ この調査報告に引用された先行技術	ド文献の写しも添付されてい	る。	
	出願 査のための言語である P C T 規則12.3(a)及び23.1(語に翻訳された、 -
b. 🧻 この国際出願は、ヌクレオチ	- ド又はアミノ酸配列を含ん。	でいる(第1櫴参	\$照)。
2. 「請求の範囲の一部の調査がて	∵きない(第Ⅱ欄参照)。	-	
3. 🗖 発明の単一性が欠如している	」(第Ⅲ欄参照)。		
4. 発明の名称は 🔽 出願/	人が提出したものを承認する。	,	•
□ 次に表	示すように国際調査機関が作	成した。	
	1 24 H III		
	人が提出したものを承認する。		
国際語		は、この国際調査	(PCT規則38.2(b)) の規定により E報告の発送の日から1カ月以内にこ
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>1</u> 図とする。 ☑ 出	願人が示したとおりである。		·
	願人は図を示さなかったのて	、国際調査機関	が選択した。
□本	図は発明の特徴を一層よく表	しているので、	国際調査機関が選択した。
b. 「 要約とともに公表される図に	はない。		
	- -		

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.⁷ C23C4/10 (2006.01), C23C4/18 (2006.01), B32B9/00 (2006.01), C03C17/245 (2006.01), C03C17/36 (2006.01)

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.⁷ C23C4/10 (2006.01), C23C4/18 (2006.01), B32B9/00 (2006.01), C03C17/245 (2006.01), C03C17/36 (2006.01)

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2005年

日本国実用新案登録公報

1996-2005年

日本国登録実用新案公報

1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献				
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
X	JP 2001-164354 A (トーカロ株式会社) 2001. 6.19,特許請求の範囲,第4欄第1-7行,第7欄第2,3行 & WO2001/042526 A1 & EP 115613	1-5, 7, 8, 11-15, 17		
A	0 A1 & KR 2002003367 A & US 20 02/177001 A1 & TW 486758 A	6, 9, 10, 16		
A	JP 2004-149915 A (関西電力株式会社) 2004. 5. 27, 特許請求の範囲 (ファミリーなし)	6, 9, 10, 16		

▼ C欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す。
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献(理由を付す)
- 「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

25.10.2005

国際調査報告の発送日

01. 11. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

4E | 3134

松本 要

電話番号 03-3581-1101 内線 3425

国際調査報告

	国际硕宜牧古				
C(続き).	関連すると認められる文献				
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときに	は、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
Е, Х	JP 2005-256098 A (トーラ9. 22, 特許請求の範囲 (ファミリーな		1-17		
·					
			·		
	. •				
	·				